新潟ＡＡＣ研究会

Niigata Society for Augumentative Alternative Communication

　このたび、新潟市内で子どものコミュニケーション支援に関係する機関（新潟大学教育学部、工学部、附属特別支援学校、各医療機関等）が中心となり、ＡＡＣ研究会を開催する運びとなりました。ＡＡＣとは、ことばでのコミュニケーションが難しい場合などに、その代替として用いられる機器や道具、サインなどの手段です。しかし、どのような子どもに、どの手段を用いるのかという判断、あるいはその機器類の入手はどうするのかなど、現場で手軽に導入するにはまだまだ難しい場合もございます。

　そこで、本研究会では、支援に携わる方々のＡＡＣに対する理解を深め、ＡＡＣを子どもたちの支援策の一つの手段として考えられるようにするための情報を発信してゆきたいと考えております。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

- 日時　2011 年（平成 23 年）11 月 20 日（日曜日）　13 時から 16 時
- 場所　新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」（新潟駅南口直結）
- 内容　**ＡＡＣ入門**

  新潟大学教育学部　長澤正樹 教授

  さまざまなＡＡＣ（ローテク・ハイテク）

  はまぐみ小児療育センター 作業療法士　相場有希子

  視線入力を使ったコミュニケーション

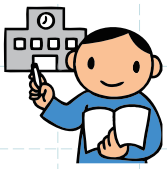
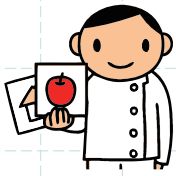
  県立東新潟特別支援学校 教諭

  附属特別支援学校の取り組み

  附属特別支援学校 教諭　廣川豊士 ほか

  みてい

  明倫短期大学ことばクリニック 言語聴覚士　青木さつき

主催：新潟大学教育学部・工学部福祉人間工学科

後援：新潟県教育委員会・新潟市教育委員会・新潟市障がい福祉課